

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【慈恩寺小学校】

## 学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	<small>【知識・技能】基礎・基本の確実な定着と系統的な理解                  国語(前学年までの記述読書の読解と音読と、文の構造(主語・述語、修飾・被修飾)の理解、算数・中学年における計算技能(多位数の乗除)の定着。                  【思考・判断・表現】情報を読み解き、組織を持って表現する力                  算数(データの活用)領域において、複数のグラフや表から必要な情報を抽出し、解釈・比較する力。                  国語(目的や相手に応じ、図表などの視覚資料を用いて自分の考えを論理的に構成し、記述する力。                  【学びに向かう力・ICTを活用し、自ら課題を解決しようとする態度                  自分の習熟度や興味に応じて学習内容を選択し、粘り強く取り組む態度(個別最適な学びの基盤)</small>
実施する学力向上策 【時期・頻度】	<small>①ICTを活用した補充学習【漢字や計算の定着に課題がある児童に対し、層々の進度に応じた反復学習を行う。しゅくすたむ・家庭学習(毎日)                  ②算数科における少人数指導の継続と充実【少人数性において、自力解決の時間を確保し、個別のつまずきに丁寧に対応する。各学年(3～4回)。                  ③「説明し合う」対話活動の活性化【算数の解き方や理科の考察において、自分の考えをペアグループで言語化し、他者の視点を取り入れる。(毎授業)                  ④データの活用(目的性)【社会科や理科、生活科の授業において、グラフや表から事実を読み取り、考察する場面を系統的に設定する。(各単元)                  ⑤「書くこと」の質の向上(構造的整理)【国語やグラフを構図として引用し、自分の考えをまとめる活動を全教科で共通して取り組む。(月1～2回程度)】</small>

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握)
今年度の成果と 次年度の課題		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業
結果から考えられる 児童生徒の実態		

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
結果から考えられる 児童生徒の実態		

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経た取組 ④調査結果を活用した授業
学力向上策の 見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)